

## 小学校家庭教育学級・MCR 学級合同研修会報告

### 1 目的

- ・小学校家庭教育学級生並びに MCR 学級生が、自らの子育てや家庭のあり方について学び、家庭教育力向上の良き機会とする。
- ・小学校家庭教育学級生並びに MCR 学級生の学びの場を広げる一助とする。

### 2 日時・場所・参加人数

9月8日(金) 10:00~12:00 アートスポットまつど  
当日参加者 30名 一時預かり利用者3名

### 3 内容

(1) 開会 石崎青少年会館長 挨拶

(2) 講演

講演会 10:00~11:30

演題 「思春期のこころの変化と特徴」

講師 早稲田大学大学院・河村茂雄研究室  
跡見学園女子大学非常勤講師  
公認心理師

千葉県スクールカウンセラー

生貝 博子 氏

(3) 質疑応答

(4) 閉会

### 4 概要

今年度も小学校家庭教育学級・MCR 学級生との合同研修会でした。コロナ禍が落ち着き始めたこと演題が子育て中の保護者にとって関心が高いという点から、事前の参加申し込みが100名以上ありました。しかし、会当日は台風に伴う悪天候となり、残念ながらやむを得ず不参加となった学級生が多くいました。参加された学級生の皆さんにとっては大変有意義で実りある研修会となり、頷いたりメモを執ったりしながら熱心に耳を傾けていました。演題は「思春期のこころの変化と特徴」で、かなり多岐に渡る視点からの内容でした。コロナ禍で一層難しくなった人間関係作りや社会適応について、また、その弊害として激増した不登校傾向の子どもたちや準ひきこもりといったマイナスの側面について考えたり、親としてできるプラスの側面について考えたりする内容のご講話をしていただき、子育てに於いて難しいとされている思春期の親の在り様について指南となる研修会となりました。

### 5 参加者の主な内容

- ・子どもの成長や心の変化を知り、親としてどう対応していったら良いかわしく知ることができて良かったです。
- ・ここ最近悩んでいたことがありましたが、少し気持ちが楽になりました。今日、聞いたことを生活に活かして行けたら良いなと思いました。
- ・子供との向き合い方について勉強になりました。イライラしてしまいがちですが、気持ちにゆとりをもち、一つ一つ対応したいと思いました。
- ・「幼児期に積み残されたことが、思春期にあらわれる」というお話を聞いて、今現在子供達の様子を見ていると思い感じるころがあり、これから子供と接する際に、気かけながら、「程良い距離」をとっていきたいと思いました。

